みんなの市議会

2020.2.1
第96号

Contents

令和元年 第4回定例会

pick up 1　日赤へ１億２千万円補助 …… 2
pick up 2　生活保護システムの改修費 …… 3
pick up 3　消防・防災センターの改修費 …… 3
pick up 4　会計年度任用職員制度を導入 …… 4
pick up 5　市民活動センターの指定管理者について …… 4
pick up 6　B&G 海洋センター、廃止へ …… 5
pick up 7　大滝保育所を指定管理方式へ …… 5
pick up 8　大滝交流施設の指定管理者について …… 6
pick up 9　大滝区中島地区牧場を用途廃止へ …… 6

一般質問

小　倉　　拓（令和みらい） …… 7
佐　藤　匡　則（令和みらい） …… 8
荒　井　秀　樹（令和みらい） …… 8
渡　辺　雅　子（公　明　党） …… 9
岩　村　和　則（自民クラブ） …… 9
大　光　　力（公　明　党） …… 10
吉　野　英　雄（無　会　派） …… 10
洞　口　雅　章（無　会　派） …… 11

意見書

意見書 …… 12

topic

総務文教常任委員会先進地行政視察 …… 13
産業民生常任委員会先進地行政視察 …… 14
会派視察（自民クラブ・公明党） …… 15
会派視察（令和みらい） …… 16
所管事務調査 …… 17
西いぶり広域連合議会 …… 18
北海道後期高齢者医療広域連合議会 …… 18

etc.

編集後記・他 …… 19

you tube
北海道伊達市議会チャンネル
伊達市議会ホームページから議会中継を視聴することができます。

令和元年

第４回 定例会

１２月３日～１２月１６日

１６案件……議案１６案件

●質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

予算決算常任委員会

Pick up 1 日赤へ1億2千万円補助

伊達赤十字病院の経営悪化に伴う地域医療の確保、市民の健康保持、安心して出産や子育てができるよう、病院運営経費の一部を補助するもの。

こんな質疑がありました。

質疑▼平成29年度からは北海道と合わせて2億円を補助してきているが、経営状況をどう判断しているか。

答弁▼近年、患者数が減少しており収益が悪化している。
今後も収益改善に向けて医師確保が重要と認識している。

質疑▼補助金額の根拠は。

答弁▼地方では、収益が困難な小児科、産婦人科、精神科については、市が補助し、国が特別交付税措置することを根拠としている。

※補助金1億2千万円のうち、約5千700万円は特別交付税として措置されます。

予算決算常任委員会

Pick up 2 生活保護システムの改修費

現在の生活保護申請時の追加項目が規定され、その項目に関するシステムの変更、改修としての費用。

こんな質疑がありました。

質疑▼変更点、追加点は何か。

答弁▼大きく3点変。

1、進学準備給付金が創設され、マイナンバーとの連携のための改修。

2、生活保護申請時の生命保険会社への照会様式の変更。

3、被保護者の調査項目変更。

これらのシステム改修を行う。

質疑▼機能の追加ということか。

答弁▼追加は一つだが残り二つは変更の費用。

予算決算常任委員会

Pick up 3 消防・防災センターの改修費

伊達市消防・防災センターの冷暖房設備は、設置から16年が経過しており、更新及び工事期間中の代替暖房に要する費用として、伊達市より5500万円を負担するもの。

こんな質疑がありました。

質疑▼この金額であれば当初予算で計上すべきではないか。

答弁▼急遽、大きな故障が生じたため、補正計上となった。

質疑▼設置から16年での改修は、早いのではないか。

答弁▼通常の電気設備は約10年程度で老朽化が始まる。

質疑▼点検はしていたのか。

答弁▼平成24年度までは、納入業者点検であったが、以降は職員が点検している。

質疑▼消防・防災センターは、1市3町での共用であるが、今回の負担金は、伊達市だけの負担となるのか。

答弁▼建物の所有者が伊達市のため、本市のみの負担になる。

総務文教常任委員会

Pick up 4 会計年度任用職員制度を導入

法律の改正により、現行の非常勤職員制度が見直され、新たに会計年度任用職員制度が導入されたことに伴い、本市でも条例を制定し令和2年4月より施行する。

こんな質疑がありました。

質疑▼雇用期間の変更はあるのか。

答弁▼現行の制度で臨時職員は1年を超えて業務できない運用となっている。来年度以降は単年ごとの契約ではあるが、連続雇用が可能になり、業務実績によっては継続になることもある。

質疑▼待遇面の変更はあるか。

答弁▼制度導入後は夏と冬の年2回の期末手当を支給できるようになる。また、継続雇用時は、賃金のベースアップも考えている。休暇取得など

も含めて、待遇面は向上する。

総務文教常任委員会

Pick up 5 市民活動センターの指定管理者について

伊達市社会福祉協議会が指定管理者となり、市民活動センターの管理運営を担うこととなる。

こんな質疑がありました。

質疑▼指定管理の候補者の理由として、市民活動団体と福祉団体の連携及び協調とあるが、これはどう考えているか。

答弁▼様々な団体が会議室として利用している状況にある。社協は現在、ボランティア団体をサポートしており、今後も各団体と連携することに期待する。

質疑▼会議室などが借りられないといった状況にはならないのか。

答弁▼可能性はあるが、できる限り調整をしていきたい。

総務文教常任委員会

Pick up 6 B&G海洋センター、廃止へ

「伊達市B&G海洋センター」を廃止するため条例改正を行うもの。体育館及び艇庫については解体する予定。B&Gパークゴルフ場については引き続き活用する。

こんな質疑がありました。

質疑▼現時点で予定しているスケジュールは。

答弁▼広報等で周知をする。

体育館を定期的に使用している団体については、説明会を実施済。体育館等の解体は、令和4年度までに実施予定。

質疑▼解体に係る金額は。

答弁▼体育館については4800万円程度と見込んでいる。

質疑▼室内にある運動用具は。

答弁▼もともと古い物なので、廃棄する方向性である。

質疑▼令和4年度までの間に、例えば避難場所等に緊急的に使うことはありうるのか。

答弁▼この条例が改正され次第、防災計画を見直す予定。

産業民生常任委員会

Pick up 7 大滝保育所を指定管理方式へ

令和2年4月1日から、伊達市立大滝保育所の指定管理者にiNe（アイネ） Japon（ジャポン）株式会社を指定するもの。

こんな質疑がありました。

質疑▼指定管理者は札幌の業者だが、市内業者の応募はなかったのか。

答弁▼市内業者の応募はなかった。保育士の確保などが難しかったものと思われる。

質疑▼野口観光の企業内保育所での実績がある会社だが、運動会、学芸会など大滝保育所との事業連携は可能か。

答弁▼企業内保育所「ソラニワルーム」を経営しており、事業連携、人のやりくりは可能と聞いている。

質疑▼事業は現在地なのか。

また現保育士等の処遇は。

答弁▼現施設はそのまま。現育士4名は新年度も継続雇用される予定である。

産業民生常任委員会

Pick up 8 大滝交流施設の指定管理者について

大滝区内のふれあい交流施設や歩くスキーコース、農村公園など5つの交流施設について、特定非営利活動法人大滝まちづくりサポートを指定するもの。

こんな質疑がありました。

質疑▼従来3年だった指定期間が2年となった経緯は。

答弁▼施設利用が減少、3年継続は難しいと判断。関内パークゴルフ場は、料金箱設置など経費を効率化しており、そのような方法も検討したい。

質疑▼優徳農村公園のパークゴルフ場の今後の利用方法は。

答弁▼管理上、年2回ほど草刈り等を行っている。今後の利用方法も含め考えていく。

質疑▼管理運営への意欲の評価点数が低い。どう考えるか。

答弁▼パークゴルフ人口減少に対する対応を出せないことが影響している。あり方を管理者と十分協議していきたい。

産業民生常任委員会

Pick up 9 大滝区中島地区牧場を用途廃止へ

中島地区牧場は平成6年度に供用開始したが、畜産農家の高齢化や後継者不在により年々利用者が減少、平成24年度から運営を休止、牧場の再開は見込めないと判断し、廃止することとした。

こんな質疑がありました。

質疑▼廃止の判断が今のタイミングになったのはなぜか。

答弁▼牧場の再開や牧草の刈入れ要望もなく、飲雑用施設等の修繕、草地更新等多大な経費を要すると判断した。

質疑▼企業から土地の相談があると聞くが今後の対応は。

答弁▼国営事業用地であり、牧場を経営している企業2社から相談があるが、そのままでは売買できない。売買については用途廃止後、国と協議が必要となる。

一般質問

令和元年１２月９日、１０日の２日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。

伊達市における教育の在り方について

令和みらい　小倉拓

質問▼文部科学省が設置を推進している「幼児教育センター」の設置の可否を問う。

答弁▼北海道教育委員会が設置する「北海道幼児教育推進センター」を活用していくため、伊達市において幼児教育センターを設置する予定はない。

質問▼子育て支援を担当する部局は、健康福祉部に置かれているが、乳幼児期から児童期まで一貫した取り組みをするためには、教育委員会に移管する必要があると考えるが。

答弁▼教育委員会と健康福祉部で連携を図っているため、移管は考えていない。

質問▼伊達市として、学校教育の基本理念や、将来的な子ども像をどう捉えているか。

答弁▼自立・協働・創造を柱とした基本理念を掲げている。

質問▼幼児期から一貫した教育計画の作成が必要だと考えるが、計画策定の予定を問う。

答弁▼現在、予定はない。

●その他の質問

伊達市における図書館について

市のＳＤＧｓの取り組みについて

SDGｓについても質問しました

令和みらい

アイヌ新法について　プログラミング教育について

佐藤匡則

質問▼市内におけるアイヌの方々の現状について伺う。

答弁▼アイヌ文化の伝統継承や社会的地位の向上などを目的とした伊達アイヌ協会があり、４月現在で53世帯２０５名のアイヌの方々が活動されている。

質問▼政策推進交付金の活用について伺う。

答弁▼伊達アイヌ協会と協議を重ね、本年度末までに取りまとめ、令和２年度からの事業に活用していきたい。

質問▼このアイヌ新法の中に事業に関する項目において５つほど挙げられている中の一つに、地域内もしくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業とある。

これについて現時点でどのような計画があるか問う。

答弁▼計画の一つとして、有珠の生活館を立て直す予定をしている。

●その他の質問

プログラミング教育について

立て替えが計画されている有珠生活館

令和みらい

伊達市立図書館・だて歴史文化ミュージアム

荒井秀樹

質問▼増改築する場合の図書館の場所、施設概要を問う。

答弁▼場所については、複眼的に勘案し現在地での増改築を主に検討している。

また、現在の施設が抱えている課題を整理し、今後実施する基本設計に盛り込んでいく。

質問▼だて歴史文化ミュージアムの利用状況、ガイド育成についての考えを問う。

答弁▼開館から12月１日までの来館者数は本館と他の２施設を合わせて、延べ約３万人となっている。現在は当館学芸員とボランティアが協力しガイドをしている。知識だけでなく接遇スキルなども求められることから、まずは現状のスタッフが連携・協力を図り技術向上に努めていく。

質問▼コンパクトなまちづくりの計画、商店街の活性化や空き家の再生について問う。

答弁▼本市は人口の77％が市街化区域に居住しているなど、コンパクトなまちづくりになっているとされている。今後もコンパクト化を意識したまちづくりを進めていく。

市内に点在している空き店舗や空き家を資源と捉え、利活用して、地域の活性化を図っていく。

平成３１年４月にオープンしただて歴史文化ミュージアム

公明党

渡辺雅子（わたなべまさこ）

性暴力被害者支援について ほか

質問▼性暴力被害を受けた方が相談できる窓口や、その後の支援や体制作りは。また性暴力防止のための性教育が実施されているかを問う。

答弁▼被害者の人権と尊厳を踏みにじる極めて悪質な行為である。市として実態を把握することは困難だが、子育て支援課が窓口、また医療機関により相談を受けるケースもある。性教育に関しては、特別活動や外部講師を招いた「いのちの学習」「デートDV防止」の正しい知識理解を指導している。

質問▼プログラミング教育の現状と指導計画の作成や教職員教育は進んでいるかを問う。

答弁▼新学習指導要領が完全実施となる令和2年度に向け指導計画の作成や校内研修を進めている。教員については「伊達市プログラミング教育研修講座」を開催し理解を深めていく。

質問▼西いぶり広域連合のゴミの分別について統一化するべきではないかを問う。

答弁▼市町ごとに処理施設や収集体制などの地域事情があるため、統一は困難。

性暴力被害者支援窓口と連携病院

自民クラブ

岩村和則（いわむらかずのり）

鳥獣食害対策について 買い物弱者対策について

質問▼伊達市内における被害金額の申告において、多くの農家の方が申告しておらず過少の可能性があると思うが、市の見解を問う。

答弁▼対策が進まないことから被害金額申告が過少になっていると認識する。農協や伊達市鳥獣被害防止対策協議会と連携し協力を求めたい。

質問▼今後の対策にて、各地区の営農者や猟友会会員で作る個体数減少を目指す、プロジェクトチームを協議会の専門部会として作る考えは無いか問う。

答弁▼色々なやり方はあるが北海道猟友会の協力も視野に入れ、今後も駆除活動を継続する一方、市町村単位の駆除には限界があることから、北海道の広域性を考慮した対策の要望を継続していく。

質問▼買い物弱者地域に行政主導型の店舗開発を行う考えがあるか問う。

答弁▼地域の機運で誕生し、継続性、採算性のあるものが良い。市の主導より地域主導が望ましい。

有害鳥獣による食害（有珠地区）

子ども・子育て支援と自治会について

公明党　大光力

質問▼第1期伊達市子ども・子育て支援事業計画の成果と課題について問う。

答弁▼おおむね計画どおりに実施できたと考えており、特に、ひまわり保育所の供用開始により、待機児童については大きく改善できたと認識している。

一方では、保育士の確保が困難であることから引き続き人材確保に努めていく。

質問▼第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画の方向性について問う。

答弁▼基本的には第1期計画の内容を踏襲することとして第2期計画は、今後の少子化に対応した子育て環境の一層の充実に資する計画にしたいと考える。

質問▼今後の自治会のあり方について問う。

答弁▼自治会が抱える課題は多いと認識しているが、自主的な取り組みが今後も継続されるよう、市としても支援してまいりたい。

子ども・子育て支援事業計画表紙

要介護1・2の総合支援事業移行は制度を歪めるのでは

無会派　吉野英雄

質問▼平成26年の改正で要支援1・2が総合支援事業に移行した。市の対応の現状は。

答弁▼これまで通りのサービス事業を緩和した市の独自事業を実施している。

質問▼国は要介護1・2を介護保険から外し、市町の総合支援事業に移行、ケアプランの有料化を検討と聞くが。

答弁▼移行は断念したと聞いている。ケアプラン有料化は情報を得ていない。

質問▼ごみ処理施設大型化でゴミの分別、3R意識を再度喚起する必要性はないか。

答弁▼ゴミの分別、3Rに関する意識の醸成に努めたい。

質問▼児童・生徒のひきこもりの実態と対策は。

答弁▼10月末で5名。関係機関と連携し支援を続けたい。

介護保険制度はどうなる?

伊達大滝ロングトレイルについて

無会派　洞口雅章（ほらぐちまさゆき）

質問▼一昨年の一般質問で市民の健康増進と観光客誘致の観点から市内ウォーキングコースの整備について伺い、本年十月に伊達百五十年記念事業実行委員会が「伊達大滝※ロングトレイルガイド」、だて観光協会が「だてまち歩きガイドマップ」を作成し配布を始めたとの報告を受けた。実行委員会は本年度で解散するがロングトレイルの事業継承について伺う。

　また、同ロングトレイルとまち歩きガイドマップの今後の課題と整備計画について伺う。

答弁▼ロングトレイル事業は、だて観光協会に事業を継承するための協議を進めている。情報発信は観光協会が、トイレ等を含む施設整備は全体像を見極めながら市が担っていく。世界遺産を目指す北黄金と観光資源の多い有珠から整備を進める。だてまち歩きガイドマップは、福祉・観光・教育等の施策への活用を考えていく。

（※ロングトレイルとは、登山道や、自然散策路、里山のあぜ道、ときには車道などを歩きながら、その地域の自然・歴史・文化に触れることです。）

各コースのガイドマップ

豆知識（まめちしき）

【指定管理者制度とは？】

●市議会の議決を経て、公の施設の管理、運営を幅広い団体に委ねることができる制度。

　その目的は多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、経費の削減等を図ることである。

【期待できる効果】

●民間事業者のノウハウを活用することにより、管理経費の縮減が期待できる。

　より多くの利用者を確保しようとする民間事業者の力を活用することで、利用の満足度やサービスが向上する。

　最終的な責任は市が負うことになっており、基本的なことに関しても市が決定するので、適正な管理は確保されている

意見書

※意見書とは…
①各団体から提出された意見書案は会派ごとに審査
②議会運営委員会で協議
③3分の2以上の会派の同意により本会議に提出
④提出された意見書案が過半数の議員の賛成により可決
⑤伊達市議会の機関意思として国・道の各機関へ提出
※国の関係機関とは⇒内閣総理大臣、衆議院議長・参議院議長、各担当大臣など

議会運営委員会を12月10日に開催し、意見書の取り扱いについて審査を行った。
各団体から提出された意見書は5件で、審査の結果は下記のとおり。
※各意見書の詳しい内容については伊達市HPをご覧ください。

《議会運営委員会での賛否一覧》

本会議への上程の可否	件名	提出依頼者	令和みらい	自民クラブ	公明党
○	噴火湾における養殖ホタテへい死に関し観測施設の導入・整備に係る意見書	日本共産党伊達市委員会	○	○	○
×	日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書	連合北海道伊達地区連合会	×	×	×
○	豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書	公明党伊達支部	○	○	○
○	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書		○	○	○
○	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書		○	○	○
○	令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書		○	○	○

○⇒可　×⇒否

図書館運営・市独自の教育方法・プログラミング教育

委員長：渡辺雅子　副委員長：佐藤匡則
委　員：堀　博志、岩村和則、荒井秀樹、小倉　拓、寺島　徹、山田　勇、小久保重孝

★兵庫県高砂市　令和元年11月5日(火)

●高砂市立図書館について

平成28年に新図書館が設立された。蔵書冊数も現在約18万冊、数種類の椅子が設置され、リラックスして読書できるよう随所に工夫がみられた。

★兵庫県小野市　令和元年11月6日(水)

●「ハートフルチャレンジおの検定」について

「マイナス1歳から15歳」までの一貫した教育を中心に基礎的な学力の向上、規則正しい生活習慣を身につけることを目的として取り組んでいた。

★兵庫県加東市　令和元年11月7日(木)

●加東市立図書館について

図書貸出密度が13年連続全国一の実績。立地条件がよく、身近に図書館があり周りが散歩道となっており、気軽に立ち寄れる場所であることも実績に繋がる要因の一つと考える。

★兵庫県丹波市　令和元年11月7日(木)

●「プログラミング教育」について

ICTを活用し子ども達が、時代を越えて普遍的に求められる「プログラミング的思考」を取り入れた教育を一早く取り入れ計画的に実施されていた。

小野市　おの検定について説明を受ける

丹波市　プログラミング教育の一端を体験

たじみビジネスプランコンテスト・わーくはぴねす農園あいち豊明ファームほか

委員長：田中秀幸　副委員長：吉野英雄
委　員：洞口雅章、大光　力、犬塚貴敬、篠原一寿、辻浦義浩、阿戸孝之、阿部正明

★三重県津市　令和元年11月19日㈫

●美杉森林公園について

自然資源を有効的に活用し、健康増進と交流人口の拡大を目指し、整備されたものである。特色の異なる12コースが用意され人々に癒しを与えている。

★三重県いなべ市　令和元年11月20日㈬

●いなべ市農業公園について

2つのエリアで様々なイベントを開催している。梅まつりにはたくさんの来場があり、数キロの渋滞が発生するほどの人気イベントである。

★岐阜県多治見市　令和元年11月21日㈭

●たじみビジネスプランコンテストについて

中心市街地の活性化に寄与する出展者を審査し、賞金を出す形で応援する事業である。審査が行われ、地元高校生を対象としたコンテストも行われている。

★愛知県豊明市　令和元年11月22日㈮

●わーくはぴねす農園あいち豊明ファームについて

障がい者雇用のコンサルティング、企業向け貸し農園の運営、障がい者就労支援事業の運営を支援する事業であり、企業の障がい者の雇用率の問題、就労状況をよく理解し、結び付けた画期的な事業だと思う。この事業の良さと新たな取組みを組み合わせた新事業の展開を考えるため、研究を進めたいと思う。

最後に、視察4か所全てにおいてであるが、理念を貫き熱意をもって取組める人材の大切さが何より不可欠だということを再認識した。

多治見市　たじみビジネスプランコンテストについて

豊明市　わーくはぴねす農園障がい者雇用について

浦添市「てだこ未来応援室」について

自民クラブ：篠原一寿、阿部正明、山田　勇、岩村和則
公　明　党：渡辺雅子、大光　力

★沖縄県うるま市　令和元年10月28日(月)

●うるま市ひとり親家庭生活支援モデル事業について

うるま市では、母子が一緒に生活し、児童を中心とした健全育成と早期の自立を支援するため、民間アパート等を活用し、家族構成に応じて1Lから3Lのアパートを借り上げ、無料提供、小学3年生までの児童生徒の無料学習支援を行い、専任のコーディネーターによる生活、子育て、就労など、支援対象ひとり親の自立支援計画を作成し、総合支援を行っている。

★沖縄県浦添市　令和元年10月28日(月)

●浦添市「てだこ未来応援室」について

子供たちの深刻な貧困問題に対応するために開設され、小学校区で11名の未来応援員が配置され、支援の必要な子ども、課題を抱えた子供たちの掘り起こしや、必要な支援先との調整、つなぎを行い、学校と連携を図って貧困対策を総合的に推進することを目的としている。

★沖縄県那覇市　令和元年10月29日(火)

●青少年の自立援助について

地域孤独ゼロをスローガンに2010年に社会孤立している青少年の支援を目的に「青少年自立援助センター　ちゅらゆい」を設立し活動している。不登校の児童生徒を対象に、個々人の努力によるサポートや不登校の背景にある問題に目を向け、改善に取り組んでいる。

うるま市　ひとり親家庭生活支援
モデル事業の説明を受ける

★沖縄県那覇市　令和元年10月29日(火)

●NPO法人ファミリーサポート　愛さん会について

母子・父子家庭や経済的・ゆとりのない家庭・子育て・介護・障がい等、地域における家庭支援の事業に取り組んでいる。コーディネーターの指導力が重要である。

文化的な社会教育施設及び先進的な福祉施設

令和みらい：阿戸孝之、犬塚貴敬、小久保重孝、辻浦義浩
田中秀幸、佐藤匡則、荒井秀樹、小倉　拓

★富山県富山市　令和元年11月26日㈫

●ＴＯＹＡＭＡきらり（複合施設）

富山市立図書館、富山市ガラス美術館、富山第一銀行本店などが入居する官民混合の複合施設として平成27年にオープンした。設計は隈研吾氏によるもの。

外観は富山を象徴する素材であるガラス、石などをイメージし、光が反射してどこから見ても輝いている。内部は６階建てで、図書館スペースと、ガラス美術館スペースが分かれてはいるが、うまく融合しているという印象であった。

★石川県金沢市　令和元年11月27日㈬

●金沢21世紀美術館

歴史と文化のまち金沢市の中心市街地に位置しつつも、先鋭的な現代アートを展示している市立の美術館である。平成16年のオープン初年度には、地方都市の公立美術館としては驚異的な１５７万人もの入館者を集め話題を呼んだが、その後も評判が評判を呼び、近年は年間入館者数２５０万人超を維持している。

建設に当たっては、高額な総工費に加え、歴史的な文化都市に、現代アートはそぐわないといった反対が数多くあったが、当時の山出保市長の政治的英断にて作られた美術館である。

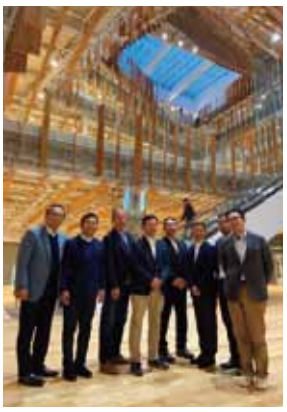
★石川県金沢市、白山市　令和元年11月27日㈬

●シェア金沢、行善寺

現在、国が推進しているＣＣＲＣの成功例として、年間６００以上の視察団が訪れるというコミュニティ。

食堂、カフェ、ちょっとした集まりができるメインの施設の周りにお店や、住宅、高齢者住宅、グループホームが集まっている〝街〟である。

１万坪以上の広大な敷地の中に、障がい者、高齢者、学生など多様な世代が〝ごちゃまぜ〟に集まって生活している。伊達市においても、自治会、高齢者、障がいを有する方、若い世代などが、共に一体となって生活をしていく未来へのヒントを得ることができた。



富山市　TOYAMAきらりにて

所管事務調査

topic 5

★総務文教常任委員会　12月11日(水)

●「伊達市の防災」について説明を受け、調査を行った。

火山噴火対策、水害対策をはじめ、有珠山火山防災計画、伊達市国民保護計画、避難行動要支援者対策計画、業務継続計画、有珠山周辺地域強靭化計画、ほか各種マニュアルなどについての説明を受けた。

また、段ボールベッドの実演、体験を行った。

組み立て中の段ボールベッド

★産業民生常任委員会　12月12日(木)

●「伊達市住生活基本計画（案）」及び「伊達市公営住宅等長寿命化計画（案）」の概要について説明を受け、調査を行った。

平成28年の策定から5年が経過し、その間の第7次伊達市総合計画の関連計画の策定及び国の策定指針の改定などから見直しを行うもので、本市の人口や住宅に関する現況と推移から住宅施策の目標と展開方法を体系化するもの。

令和2年1月～2月にパブリックコメントを実施、2月下旬に策定委員会・市営住宅審議会を経て、3月に案を公表する手順を進めている。

築４０年が経過している旭町改良住宅

topic 6 西いぶり広域連合議会

★総務常任委員会　令和元年11月11日(月)

●広域連合の運営に関する事項

1　新中間処理施設・運営事業の今後のスケジュール等について

2　現施設の老朽化対策について

3　最終処分場改修について

4　ごみ処理費の見直しについて

★第2回臨時会　令和元年11月25日(月)

●西いぶり広域連合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件

西いぶり広域連合職員定数条例及び西いぶり広域連合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例中一部改正の件、一般会計補正予算原案可決、認定した。

★総務常任委員会　令和元年11月25日(月)

●新中間処理施設整備・運営事業の実施方針について

阿戸孝之・阿部正明・小久保重孝

topic 7 北海道後期高齢者医療広域連合議会

★第2回定例会　11月25日(月)

●一般会計歳入歳出決算

●後期高齢者医療会計歳入歳出決算

●一般会計補正予算

●後期高齢者医療会計補正予算

これらについて原案のとおり可決した。

寺島　徹

発行／北海道伊達市議会　編集／広報編集委員会　〒052-0024 伊達市鹿島町20番地1
TEL 0142-82-3348 FAX 0142-23-1229 メール gikai@city.date.hokkaido.jp

●お知らせ
nformation

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は、2月28日㈮から開催され、令和2年度の政策と事業が盛り込まれた予算案を審議します。一般質問は3月5日㈭と6日㈮を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。

新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

令和元年１１月１日から令和２年１月３１日まで
視察受入一覧表

令和元年１１月２１日
山梨県山梨市議会
伊達ウェルシーランド構想について

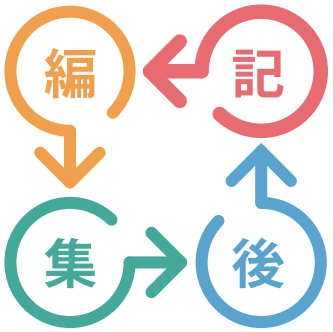
令和２年１月２２日
北海道当別町議会
だて歴史文化ミュージアムについて

令和２年１月２２日
愛媛県宇和島市議会
だて歴史文化ミュージアムについて

今回の表紙は…

1月12日㈰に行われた成人式フィナーレでのワンシーン。

編集後記



「議員定数を削減すべきだ」と言われることが間々あります。しかし、その殆どの方は議員定数をご存じない場合が多く、これは裏返すと議会不信そのものだと思います。

そのような状況を踏まえ、議会だけで決めていた定数見直しを市民との対話を通して決める議会が近年増えてきました。

伊達市議会は、いずれ議員定数を検討する時期がきます。その時は、議会案を基に市民の皆さんと充分に議論をする伊達市議会でありたいと思います。そのためには議会・議員の活動状況が市民に伝わっていなければ議論にならないと思います。この議会の見える化を担う要が、議会広報です。

議会広報は、この数年で見やすいデザインに一新されました。さて記事は議会活動を的確にお伝えする内容となっているか?名実ともに「みんなの議会」であるか?を念頭に置き、広報活動に取り組んでいきます。議会広報紙に対してご意見がございましたらお寄せください。お待ちしております。

広報編集委員　洞口雅章

広報編集委員会
委員長　佐藤 匡則　副委員長　大光 力
委　員　吉野 英雄・洞口 雅章・荒井 秀樹・小倉 拓・山田 勇・阿部 正明